

授業科目 臨床栄養学Ⅲ

【担当教員名】 渡邊 榮吉	対象学年	4	対象学科	栄養
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

臨床栄養学Ⅲは、臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ、臨床栄養学実習Ⅰおよび学外での臨床栄養学臨床実習Ⅱで学習してきた一連の科目の集大成と位置付けられる。

同時に、これまでに履修臨床栄養学に関する科目すべてを結び付けて理解する必要がある。さらに、復習と統合の視点から重点的学習を行う。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

傷病者の病態や特徴に基づいた適切な栄養管理を行うための栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する考え方を理解し、これまでの諸科目での学習や実習経験を生かして具体的な栄養治療・評価方法を身につける。

1. 主要な疾病に関して、医学的視点から基本的事項を説明できる。
2. 主要な疾病の予防および治療における臨床栄養学の意義を具体的に説明できる。
3. 臨床検査値について、その目的や意義の説明と結果の解釈、評価ができる。
4. ライフステージ別、疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法を立案できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	各学生のテーマ決定	4	カンファレンス
2	発表 (興味ある分野を選択し栄養法、指導教材の作成)	1	講義と学生による課題発表
3	発表 (興味ある分野を選択し栄養法、指導教材の作成)	1	講義と学生による課題発表
4	外科疾患 術前・術後の栄養管理	1.2	講義
5	内分泌疾患 糖尿病と高尿酸血症・痛風 (※提示によるディスカッション)	3.4	講義とメディカルカンファレンス
6	高脂血症、肥満症 (症例提示によるディスカッション)	3.4	講義とメディカルカンファレンス
7	消化器疾患 胃腸疾患	3.4	講義
8	肝、膵疾患	3.4	講義
9	神経疾患 脳血管障害	1.2	講義
10	腎疾患 慢性腎不全 (透析期)	3.4	講義
11	糖尿病合併症 糖尿病性腎症の病態病期における栄養管理	3.4	講義
12	周産期医療 妊産婦一合併症の治療と栄養療法	1.2	講義
13	新生児・低出生体重児の栄養治療	1.2	講義
14	その他の疾患 アレルギー疾患	1.2	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	糖尿病治療ガイド	日本糖尿病学会	文光堂	2006-2007年 ¥600
	高脂血症治療ガイド	日本動脈硬化学会	南山堂	2004年 ¥500
	病態栄養ガイドブック	日本病態栄養学会編	メディカルレビュー社	2008年 ¥3500
参考書	今日の病態栄養療法	渡辺明治	南光堂	2008年 ¥3500
その他の資料	必要に応じてプリント			
【評価方法】		【履修上の留意点】		
出席状況、レポート、定期試験より評価		症例提示によるメディカルカンファレンスは、症例の療養指導の問題点における管理栄養士のアプローチを個々の発表する実践の場であり、各疾患の診断・治療基準および栄養評価からの治療・栄養療法の対応について復習しておく。		